

平成26年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年7月11日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ANAP

コード番号 3189 URL <http://www.anap.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 家高 利康

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 名和 俊輔

TEL 03-5772-2717

四半期報告書提出予定日 平成26年7月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年8月期第3四半期の業績(平成25年9月1日～平成26年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年8月期第3四半期	6,384	5.0	△406	—	△387	—	△322	—
25年8月期第3四半期	6,081	—	160	—	407	—	244	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年8月期第3四半期	△160.47	—
25年8月期第3四半期	140.49	—

(注)1. 当社は平成25年8月14日付で普通株式1株につき500株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益金額又は四半期純損失金額を算定しております。

(注)2. 当社は第3四半期の業績開示を平成26年8月期から行っているため、平成25年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。

(注)3. 前第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、前第3四半期会計期間末においては、当社株式は非上場であったため期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(注)4. 当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
26年8月期第3四半期	5,151	2,241	2,241	2,205	43.5	1,052.36
25年8月期	4,973	2,205	2,205	—	44.3	1,267.25

(参考)自己資本 26年8月期第3四半期 2,241百万円 25年8月期 2,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年8月期	—	0.00	—	—	—
26年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年8月期の業績予想(平成25年9月1日～平成26年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,879	3.4	△481	—	△465	—	△386	—	△189.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

通期業績予想の修正については、本日(平成26年7月11日)公表いたしました「業績予想の修正及び不採算店舗の閉鎖に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年8月期3Q	2,130,500 株	25年8月期	1,740,000 株
26年8月期3Q	61 株	25年8月期	— 株
26年8月期3Q	2,009,991 株	25年8月期3Q	1,740,000 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3.「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成25年9月1日から平成26年5月31日まで）におけるわが国経済は、政府・日銀による積極的な経済政策や金融緩和策を背景に、円安・株高が進行し、輸出関連企業の業績に改善傾向が見られました。しかしながら、海外景気の下振れ懸念や円安による輸入資材の価格上昇に加えて、個人消費に関しては、平成26年4月の消費税率引き上げに伴う駆け込み需要が見られたものの、その後の反動が依然として懸念されるなど、不透明な状況が継続しております。

当社が属するレディースファッション業界におきましては、秋口の残暑や度重なる台風、記録的な大雪など、不安定な天候が続きました。また、円安の進行による輸入原材料の高騰、及び明確なファッショントレンド不在が影響し、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、当社は従前から取り組んでいる物流改革に伴い、在庫の一元管理を目的として、全ての事業セグメントにおける在庫の共有化を開始いたしました。その結果、適正在庫水準の維持、業務効率の向上及びインターネット販売事業における販売機会の増加を見込んでおります。

また、当社は収益性の高いショッピングモールを中心に新規出店を積極的に行うとともに、「LINE@」などの他社媒体の活用による店舗及び自社ショッピングサイトの強化、さらに他社サイトである「ZOZOTOWN」での新規販売を実施いたしました。そして、さらなるインターネット販売事業の拡大策として、平成26年5月28日からクルーズ株式会社が運営するファストファッションサイト「SHOPLIST.com by CROOZ」に新規販売を開始いたしました。

以上の結果、当第3四半期累計期間におきましては、売上高6,384百万円（前年同四半期比5.0%増）となりました。売上高が堅調に推移した反面、セール販売を増加させた結果、粗利率が低下いたしました。加えて、商品出荷配送及び保管業務に係るアウトソーシング費用などが影響し、406百万円の営業損失（前年同四半期は営業利益160百万円）となりました。

また、株式公開費用が発生したものの、円安基調が継続したことにより通貨オプション評価益を計上した結果、387百万円の経常損失（前年同四半期は経常利益407百万円）となりました。そして、不採算店舗の発生に伴い、減損損失を計上した一方で、税効果会計による法人税等調整額により、322百万円の四半期純損失（前年同四半期は四半期純利益244百万円）となりました。

なお、セグメント別の業績は次のとおりであります。

#### (店舗販売事業)

当社の主要事業である店舗販売事業につきましては、高収益な店舗展開を目的に、ショッピングモールに8店舗新規出店しました。また、店舗改装 4店舗、店舗ブランドの変更 2店舗、退店 3店舗を行った結果、当第3四半期会計期間末における店舗数は98店舗になりました。しかし、既存店売上高が減少したことに加えて、セール販売の増加に伴い利益確保に苦戦いたしました。

以上により、売上高は3,945百万円（前年同四半期比0.8%減）、セグメント利益は180百万円（前年同四半期比69.7%減）となりました。

#### (インターネット販売事業)

当社の主要事業であるインターネット販売事業につきましては、積極的な商品供給を継続するとともに、自社ショッピングサイトの集客力向上を目的として、「LINE@」を中心とした他社媒体の活用などを実施いたしました。また、他社サイトである「ZOZOTOWN」への出店が効果を発揮した結果、堅調に売上高が増加しております。加えて、平成26年5月28日からクルーズ株式会社が運営するファストファッションサイト「SHOPLIST.com by CROOZ」に新規販売を開始いたしました。

以上により、売上高は1,954百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント利益は379百万円（前年同四半期比25.1%減）となりました。

#### (卸売販売事業)

卸売販売事業につきましては、新規取引先への販売が増加し、売上高が増加しております。

以上により、売上高は484百万円（前年同四半期比0.2%増）、セグメント利益は13百万円（前年同四半期比65.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第3四半期会計期間末における流動資産の残高は3,154百万円となり、前事業年度末に比べ31百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が171百万円減少した一方、商品及び製品201百万円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末における固定資産の残高は1,997百万円となり、前事業年度末に比べ146百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産が97百万円減少した一方、投資その他の資産が256百万円増加したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末における流動負債の残高は2,030百万円となり、前事業年度末に比べ335百万円増加いたしました。これは主に、未払法人税等が166百万円減少する一方で、短期借入金が500百万円増加したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末における固定負債の残高は878百万円となり、前事業年度末に比べ194百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が124百万円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産の残高は2,241百万円となり、前事業年度末に比べ36百万円増加いたしました。これは主に、新規上場のための公募発行増資を実施したことに伴い資本金及び資本剰余金がそれぞれ179百万円ずつ増加した一方で、四半期純損失計上に伴い利益剰余金が322百万円減少したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年8月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日(平成26年7月11日)公表いたしました「業績予想の修正及び不採算店舗の閉鎖に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表  
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	619,934	638,904
売掛金	716,485	545,160
商品及び製品	1,536,727	1,738,148
仕掛品	988	503
原材料及び貯蔵品	5,442	7,398
その他	251,632	228,048
貸倒引当金	△8,634	△3,964
流動資産合計	3,122,577	3,154,199
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	528,452	472,042
その他（純額）	505,309	463,871
有形固定資産合計	1,033,761	935,914
無形固定資産	69,294	56,880
投資その他の資産		
敷金及び保証金	645,576	669,426
その他	113,006	345,962
貸倒引当金	△11,056	△10,975
投資その他の資産合計	747,526	1,004,413
固定資産合計	1,850,583	1,997,208
資産合計	4,973,161	5,151,408
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	167,488	262,486
短期借入金	600,000	1,100,040
未払法人税等	172,986	6,466
賞与引当金	59,500	55,250
返品調整引当金	1,200	4,000
資産除去債務	2,196	3,750
その他	691,601	598,936
流動負債合計	1,694,973	2,030,930
固定負債		
社債	167,000	70,500
長期借入金	247,230	122,235
退職給付引当金	164,897	178,982
役員退職慰労引当金	377,680	377,680
資産除去債務	57,727	65,320
その他	58,644	63,776
固定負債合計	1,073,180	878,494
負債合計	2,768,154	2,909,424

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年5月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	118,000	297,630
資本剰余金	422,484	602,114
利益剰余金	1,664,272	1,341,722
自己株式	—	△69
株主資本合計	2,204,757	2,241,398
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	249	585
評価・換算差額等合計	249	585
純資産合計	2,205,006	2,241,983
負債純資産合計	4,973,161	5,151,408

(2) 四半期損益計算書  
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年5月31日)
売上高	6,081,397	6,384,009
売上原価	2,525,248	3,203,155
売上総利益	3,556,149	3,180,853
返品調整引当金戻入額	1,400	1,200
返品調整引当金繰入額	1,300	4,000
差引売上総利益	3,556,249	3,178,053
販売費及び一般管理費	3,395,459	3,584,792
営業利益又は営業損失(△)	160,789	△406,739
営業外収益		
受取利息	79	102
受取配当金	483	0
通貨オプション評価益	359,196	57,209
その他	4,681	7,794
営業外収益合計	364,440	65,106
営業外費用		
支払利息	8,692	7,466
社債利息	1,743	1,334
為替差損	99,919	10,063
株式公開費用	3,000	17,851
その他	4,294	9,412
営業外費用合計	117,649	46,128
経常利益又は経常損失(△)	407,580	△387,761
特別利益		
固定資産売却益	—	14,336
その他	729	—
特別利益合計	729	14,336
特別損失		
固定資産売却損	—	11,218
減損損失	13,842	97,076
その他	8,897	17,835
特別損失合計	22,740	126,130
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	385,569	△499,554
法人税、住民税及び事業税	200,202	10,417
法人税等調整額	△59,080	△187,422
法人税等合計	141,122	△177,005
四半期純利益又は四半期純損失(△)	244,448	△322,549



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は平成25年11月19日に東京証券取引所 J A S D A Q に上場し、公募増資による払込を受け、新株式320,000株の発行を行いました。また、オーバーアロットメントによる当社の株式の売出し(貸株人から借入れる当社普通株式70,500株の売出し)に関連して、第三者割当による新株式発行を行いました。

その結果、当第3四半期累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ179,630千円増加し、当第三四半期会計期間末において資本金が297,630千円、資本準備金が227,630千円となっております。

(セグメント情報等)

I. 前第3四半期累計期間(自平成24年9月1日 至平成25年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	店舗販売事業	インターネット 販売事業	卸売販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,977,498	1,620,477	483,422	6,081,397	—	6,081,397
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,977,498	1,620,477	483,422	6,081,397	—	6,081,397
セグメント利益	595,555	506,087	40,700	1,142,343	△981,553	160,789

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用981,553千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ. 当第3四半期累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成26年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期損益計 算書計上額 (注) 2
	店舗販売事業	インターネット 販売事業	卸売販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	3,945,407	1,954,399	484,202	6,384,009	—	6,384,009
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	3,945,407	1,954,399	484,202	6,384,009	—	6,384,009
セグメント利益	180,337	379,253	13,895	573,487	△980,226	△406,739

(注) 1. セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用980,226千円が含まれております。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門等における一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業損失と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

店舗販売事業において、営業活動から生じる損益が継続してマイナスの店舗で、今後も収益改善の可能性が低いと判断した店舗及び使用範囲の変更により回収可能価額を著しく低下させる変化があった店舗について、帳簿価額を回収可能性価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上いたしました。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期累計期間において97,076千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。